

平成11年度九州支部講演会報告

平成12年3月6日、鹿児島地方気象台において平成11年度九州支部講演会が開催された。プログラムは後記のとおりである。時代を反映して風力発電や都市の温暖化など環境問題に関する話題が目立ったほか、地球規模の現象から局地的な現象まで、観測・解析・理論・数値シミュレーションなど様々な手法を使った研究が発表された。参加者30名ほどの小さな催しではあったが、異なる分野の研究者が一同に会して情報や意見を交換することができ、細かい専門に分かれた全国大会とは別の意味で有意義なものとなった。この講演会の準備や運営に当たって、鹿児島地方気象台所属の会員にご協力いただいたことに深く感謝したい。

(九州支部事務局 島津好男)

平成11年度九州支部講演会プログラム

1. 気象衛星 NOAA による1997年4月黄砂の検出と時系列拡散解析；飯野直子（鹿児島大学）ほか
2. 持続的固体地球自由振動の積雲による励起；野津原 昭二（九州大学）
3. プラネタリー波との非線形相互作用による大気潮汐波の励起；山下浩二（九州大学）
4. 台風発生と大規模循環場・海面水温との関係；吉田優・伊藤久徳（九州大学）
5. Madden-Julian 振動の位相速度についての解析；木村省吾・伊藤久徳（九州大学）
6. 八代・八竜山における風力エネルギーの評価；大河内康正（八代工業高等専門学校）
7. 薩摩硫黄島の火山噴煙と地形性雲の自動観測；吉野真人（鹿児島大学）ほか
8. 環境大気データによる黄砂と火山ガスの検出；小山田 恵・木下紀正（鹿児島大学）
9. 1998年の山口市における大気汚染物質の降水による洗浄効果に関する研究；鈴木賢士（山口大学）ほか
10. 累年気温観測データに現れる都市化の影響とLANDSAT TM 画像より抽出された都市域との相関について；田中利明・早川誠而（山口大学）
11. 2次のクロージャーマデルを用いたソルゴー群落内外における風速分布の推定に関する研究；辻多聞（鳥取大学大学院連合農学研究科）・早川誠而（山口大学）
12. 九州地域における冬季の1 km メッシュ気温値の推定偏差について；高山成（鳥取大学大学院連合農学研究科）ほか
13. 視程悪化の短時間予測手法の開発に向けて（降水に伴う視程障害）；用具敏郎（鹿児島航空測候所）ほか
14. NOAA 画像に見る1999年6月福岡豪雨の前線性降雨雲；岩崎亮治（鹿児島大学）ほか
15. 1999年台風第16号について；福永信吾・田代誠司（鹿児島地方気象台）